# 京都駅
# 西部エリア
# 活性化
# 将来構想
# （案）

## 皆様からの御意見をお待ちしています！

京都市では，梅小路公園や京都市中央市場，ＫＲＰ，商店街，文化・観光施設，寺社，大学といった多彩な地域資源が集積する「京都駅西部エリア」について，長期的な見地に立った将来ビジョンやその実現方策を明らかにし，京都駅東部エリア等，周辺地域の活性化の動きと一体となって，京都全体の大きな飛躍につなげていくことを目的として，「京都駅西部エリア活性化将来構想」の策定に取り組んでいます。

この度，学識経験者や地元・各界関係者，市民公募委員などで構成する「京都市下京区西部エリア活性化将来構想策定委員会」での審議を踏まえ，将来構想の案を取りまとめましたので，市民の皆様からの御意見，御提案を募集します。

今後，お寄せいただいた御意見を踏まえ，平成２６年度中に将来構想を策定します。

■募集期間
平成２７年2月１０日（火）～平成２７年3月１１日（水）【必着】

■御意見の提出方法等
本冊子の最終ページをご覧ください。

パブコメくん

京都市下京区西部エリア活性化将来構想策定委員会

京都市

# Ⅰ　はじめに

## 1 構想策定の背景と目的

京都駅西部エリアは，京都の成長戦略を推進し，都市格を高めていくうえで大変重要な地域である。エリア内には，梅小路公園をはじめとする多彩な地域資源が存在するとともに，京都鉄道博物館の開業や七条通付近における新駅の設置等，新たな動きもあり，活性化の機運が大きく高まっている。このような背景を受け，本将来構想を策定し，京都駅東部エリア等の周辺地域の活性化の動きと一体となって，京都全体の大きな飛躍につなげていくことを目的とする。

■多彩な地域資源
- ○ 梅小路公園，京都市中央市場，ＫＲＰ，商店街，文化・観光施設，寺社，大学等
- ○ 平成 24 年３月に京都水族館が開業，平成 26 年３月に「すざくゆめ広場」「市電ひろば」が開園

  ≪参考≫梅小路公園の来訪者数〈推計値〉

  平成 22 年 約 170 万人（うち，市外からの来訪者は約 18%）

  → 平成 26 年 約 360 万人（うち，市外からの来訪者は約 27%）

■新たな動き
- ○ 京都鉄道博物館が開業（平成 28 年春）
- ○ 七条通付近におけるＪＲ新駅の設置（平成３１年春）
- ○ 京都市中央市場の施設整備及びそれに伴う「賑わいエリア」「有効活用地」の活用（平成 31 年度に水産棟，平成 37 年度に青果棟の整備が完了予定）

「JR新駅」
平成31年春開業
予定

## 2 構想策定の基本事項

### 期間

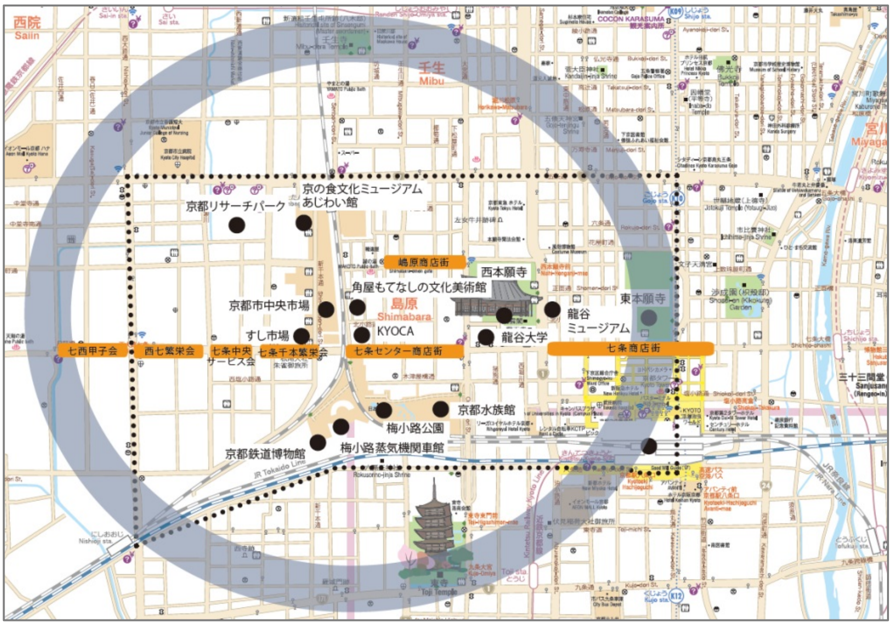
**○ 将来ビジョン：長期的な見地に立ち設定**

**○ 取り組むべき具体方策：概ね今後 10 年間（平成 27 年度～平成 36 年度）**

特に，平成 32 年に東京五輪が開催され，海外からの来訪者もより一層増加すると見込まれることも見据えて，前半５年間（平成 27 年度～平成 31 年度）に強力に取組を推進する。

### 対象エリア

北は五条通，南は JR 京都線，東は烏丸通，西は西大路通に囲まれたエリア（下図点線で囲まれたエリア）を中心とし，その周辺にある「東寺」や「壬生寺」等までを含めたエリア（下図青線で囲まれたエリア）を「京都駅西部エリア」と位置付け，対象エリアとした。



## 3 策定の考え方

**すべての地域主体が将来ビジョンを共有し，民間活力と京都市の施策を融合させる。**

上記の考え方のもと，以下の進め方に基づき，構想を策定し，本エリアの活性化に取り組む。

① **これまで「課題」と考えてきたことを「ポテンシャル」として捉え直す。**

② **個々の資源のポテンシャルをいかす，また，それらを結びつけることによって新たな可能性を追求する。**

③ **本エリアに限定するのではなく，常に他のエリアとの連携を図り，他のエリアへの波及効果を追求する。**

④ **適切な時期に，具体的な指標により活性化の達成状況を検証して，取組を見直し，それを実行するというサイクルを確立する。**

# II　エリアのポテンシャルと課題

### 居　住

［ポテンシャル］

○ 梅小路公園等，緑やうるおい豊かな空間

○ 商店街や病院等，充実した生活利便施設

［課　題］

● 高齢化への対応，新たに転入してきた居住者との調和

● 空き家等の活用，流通の促進（市内5位の空き家率）

### 業　務

［ポテンシャル］

○ 京都駅周辺への商業・業務機能の集積

○ 産学公連携と新産業創出の拠点・KRP※

○ 京都の食文化を支える京都市中央市場

［課　題］

● KRPを核とした業務機能の強化

●京都市中央市場を強みとした食の取組の推進

● 商店街の活性化

### 集　客

［ポテンシャル］

○ 数多くの魅力的な歴史・文化資源（東・西本願寺，島原，龍谷ミュージアム等）

○ 新たな集客施設（京都水族館，京都鉄道博物館 等）

○ 鉄道の聖地（様々な車両が行き交う光景 等）

［課　題］

● 歴史・文化資源の保存・継承と魅力の再発見

● 低・未利用地の活用の促進（公有地・民有地を問わず）

※ 「KRP」… 京都リサーチパーク株式会社，京都市産業技術研究所，京都高度技術研究所等。約340社が入居し，１日約4，000人がオフィス・研究施設・会議室を利用している。

### 交　通

［ポテンシャル］

○ 京都の玄関口であるJR京都駅

○ 七条通付近におけるJR新駅設置

［課　題］

● 本エリアへのアクセスの向上（大きな回遊）

● エリア内の回遊性の向上（小さな回遊）

### 地 域 連 携

［ポテンシャル］

○ 多様な地域主体による活性化に向けた動き

［課　題］

● 多様な地域主体が連携して活性化に取り組む仕組みの構築

# Ⅲ　京都駅西部エリアの将来ビジョン

## 1　活性化に向けた取組イメージ

**将来ビジョン**

将来ビジョン

**多彩な地域資源をつなげ，**
**京都の新しい賑わいを創出するまち**

**活性化イメージ**

活性化イメージ 1

**全ての居住者が安心して暮らし，文化を楽しむまち**

- ○ 緑や歴史・文化資源に触れ合える豊かなまちなか居住が進む。
- ○ 空き家の活用等により，地域のまちづくり活動が活発になり，地域コミュニティが活性化する。

活性化イメージ 2

**新しいビジネス・活気を生み出すまち**

- ○ 京都市中央市場直送の強みをいかし，食による賑わいが創出される。
- ○ 地域に密着した商店街が活性化する。
- ○ ＫＲＰを核とした新事業の創出が進む。
- ○ 京都駅周辺への商業・業務機能の更なる集積（都市機能の集積）が進む。

活性化イメージ 3

**幅広い世代の人々が多く集まり，楽しめるまち**

- ○ 京都鉄道博物館が開業（平成28年春）し，鉄道ファンをはじめ，各地から幅広い層の人々が訪れる。
- ○ 京都市中央市場整備に伴う「賑わいエリア」等の活用や，歴史・文化資源を訪れる層の拡大により，更なる賑わいが創出される。
- ○ 梅小路公園が賑わいの一大拠点となる。

**2つの仕組み**

**「ＪＲ新駅」平成３１年春開業予定**

仕組み 1　**人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する交通戦略**

取組①　七条通付近におけるＪＲ新駅の設置をはじめとした本エリアへのアクセスの向上《大きな回遊》

★ 七条通付近におけるＪＲ新駅設置

取組②　エリア内の回遊性の向上《小さな回遊》

★ 楽しく回遊できる歩行者環境の整備（ベンチやモニュメント等の仕掛けづくり）

仕組み 2

## 京都ならではの地域力・市民力をいかした「まちづくりの仕組み」の構築

取組③　多様な地域主体の連携によるまちづくり　　★ エリアマネジメント組織の設立

## 8つの方策

### 方策1　緑やうるおいを感じられるまちなか居住の推進
★ 空き家等の活用・流通の促進

### 方策2　梅小路公園の拠点機能の強化
★ 公園の多様な活用による賑わいの創出
（夜間や冬期の集客につながるイベントの開催等）

### 方策3　京都・日本の食文化の牽引
★「食」の流通拠点としての京都市中央市場の機能強化
（平成31年度 水産棟完成、平成37年度 青果棟完成）

### 方策4　地域に密着した商店街の活性化
★ 空き店舗の活用による新たな事業者の誘致

### 方策5　KRPを核とした新事業・ソーシャルビジネスの創出
★ 新たな事業の創出（ASTEMを拠点とした「ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」の推進）

### 方策6　鉄道の聖地としての飛躍
★ 京都鉄道博物館の開業（平成28年春）

JR新駅至近の距離をいかして全面的に活用

### 方策7　新たな地域資源の創出と歴史・文化資源の継承
★ 京都市中央市場整備に伴う「賑わいエリア」や「有効活用地」の活用

### 方策8　低・未利用地（公有地・民有地問わず）の戦略的活用の促進
★ 地域の特性に応じた施設の誘致
（駅周辺に都市機能を集積させるための都市計画の見直しの検討）

★…主な推進項目

# 2　2つの仕組み

## 仕組み 1　人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する交通戦略

### 取組①　七条通付近におけるJR新駅の設置をはじめとした本エリアへのアクセスの向上（大きな回遊）

ＪＲ山陰本線京都駅～丹波口駅間の七条通付近における新駅を軸とした，大きな回遊・アクセス（市外からのアクセス，本エリアと市内観光地等とのアクセス）の向上を図る。

#### 推進項目1　七条通付近におけるJR新駅設置

七条通付近におけるＪＲ新駅の設置により，「住む」，「働く」，「遊ぶ」といった様々な側面から新たな人の流れをつくり，地域の活性化を図る。併せて，駅周辺整備を実施する。

#### 推進項目2　バスによるアクセスの充実

七条通付近におけるＪＲ新駅と市内各所を結ぶ路線バスの系統・便数の改善等を図るとともに，次世代型バスシステムの導入（ＢＲＴ）等についても検討し，ターミナルとしての機能を持たせる。

#### 推進項目3　京都駅南口駅前広場の整備

京都駅南口（八条口）において，歩行者空間の創出や公共交通の乗継利便性の向上を図り，京都の玄関口にふさわしい，より一層使いやすく，人にやさしい駅前広場となるよう再整備する。

#### 推進項目4　JR西大路駅のバリアフリー化

１日平均３万人以上の利用があり，京都を代表するモノづくり企業が集積するＪＲ西大路駅について，誰もが安心・安全かつ円滑に移動できるよう，駅や周辺道路等のバリアフリー化を進める。

### 取組②　エリア内の回遊性の向上（小さな回遊）

多くの市民や観光客が集まる梅小路公園や京都駅を起点として，エリア内の多彩な地域資源への徒歩や自転車による回遊性を向上させ，地域の魅力発信と活性化を図る。

#### 推進項目1　楽しく回遊できる歩行者環境の整備

エリア内の移動が，安心・安全はもとより，迷わずスムーズに楽しく快適にできるよう，ベンチやモニュメント等の仕掛けをつくる。また，エリア内で飲食や休憩ができる場所等の情報を発信する。

#### 推進項目2　自転車による回遊性の向上

自転車による回遊性を向上するため，ＪＲ新駅周辺への駐輪場整備や，七条通における自転車走行環境の整備，より利便性の高いレンタサイクルの導入に取り組む。

#### 推進項目3　楽しみながら利用できる乗り物による回遊性の確保

楽しみながら利用できる乗り物による回遊性の確保を図るため，ベロタクシーや人力車をはじめとする事業者の誘致等に取り組む。

## 仕組み 2　京都ならではの地域力・市民力をいかした「まちづくりの仕組み」の構築

### 取組③　多様な地域主体の連携によるまちづくり

本エリアの活性化を進めていくために，多様な地域主体が主体的かつ積極的に地域の活性化に取り組むとともに，その取組を有機的に連関させていく仕組みを構築する。

**推進項目1　市民のまちに対する愛着（シビックプライド）の向上**

本エリアに関わるより多くの人の，自らのまちに対する愛着が深まるよう，まちづくりの実践や地域の魅力発信に取り組む。

**推進項目2　まちづくりの担い手の確保・リーダーの育成**

自ら行動したいと思った人が，気軽にまちづくりに参画できる仕組みを構築し，参加を促進する。まちづくりの実践，地域主体間の交流等を通じて，本エリアの活性化を牽引するリーダーを育成する。

**推進項目3　エリアマネジメント組織の設立**

本エリアのまちづくりに取り組むため，人や資金等も含め，エリア内の施設・団体，事業者等，多様な地域主体が連携し，主体となって，エリアマネジメント組織を設立・運営し，発展させる。

# 3　8つの方策

## 方策 1　緑やうるおいを感じられるまちなか居住の推進

本エリアに住み続けたい，住みたいと思う人を増やすため，より魅力的な居住環境の創出に取り組むとともに，住民同士がつながり，おもいやり，地域の皆で築く暮らしやすいまちを目指す。

**推進項目1　居住環境の向上**

七条通付近におけるＪＲ新駅の設置により，地域住民の利便性向上を図るとともに，歩行者空間の改善や憩いの場所としての公園の整備・活用の促進等により，居住環境のより一層の向上を図る。

**推進項目2　空き家等の活用・流通の促進**

空き家の活用を促す諸制度の運用等による町家の活用や，京都らしい共同住宅の整備の促進に取り組み，幅広い世代の多様なニーズに応えることができる新たな居住空間を創出する。

**推進項目3　地域コミュニティの活性化**

以前から暮らしている居住者と新たに転入してきた居住者との調和を図りながら，互いに支え合い，安心して快適に暮らすことができる地域コミュニティを実現するまちを創出する。

**推進項目4　地域課題の解決に向けた仕組みづくり**

ＮＰＯやボランティア組織など様々な分野ごとの市民活動団体と，自治会等の地域団体が連携して，高齢者の生活支援や生きがい創出，子育て支援等，地域の課題解決に向けて取り組む。

## 方策2　梅小路公園の拠点機能の強化

京都鉄道博物館，七条通付近におけるＪＲ新駅により，憩いと賑わいの一大拠点へと進化しつつある梅小路公園の魅力を高め，更なる人の流れを生み出し，本エリアの活性化を牽引する。

### 推進項目1　緑豊かな憩いの空間としての利用

より多くの方に，街中では貴重な豊かな緑の織りなす自然空間を体感していただくため，「朱雀の庭」「いのちの森」の魅力の発信や，公園の自然をいかした環境教育の充実等に取り組む。

### 推進項目2　公園の多様な活用による賑わいの創出

公園関係者や周辺事業者等が連携し，日常生活に彩りを添える様々な活動による活用を促進するとともに，ライトアップやマルシェ等，夜間や冬期の集客につなげるイベントを実施する。

### 推進項目3　総合案内所の機能強化

園内にある総合案内所における外国語への対応等，機能強化を図り，園内・本エリア内だけでなく，市内の他のエリアの様々な施設やイベント情報も含めた総合案内を行う。

### 推進項目4　利用者が快適で楽しく過ごすための施設整備

バリアフリーに配慮したトイレや休憩場所の整備，モニュメントの設置，案内表示の改善等に取り組み，公園利用者がより快適で楽しく過ごせる環境を整える。

### 推進項目5　広域的防災機能の維持・強化

公園施設の運営事業者との連携強化を含め，災害時に市民や来訪者の安心・安全を確保する広域避難場所としての空間・機能を維持・強化する。

### 推進項目6　利用者ニーズの把握

公園利用者のニーズを定期的に調査し，ソフト・ハード両面にわたる公園の機能向上にいかす。

## 方策3　京都・日本の食文化の牽引

京都市中央市場直送の強みをいかし，本エリア内の様々な事業者・団体が連携し，京都・日本の食文化を牽引する。

### 推進項目1　「食」の流通拠点としての京都市中央市場の機能強化

「伝統と革新の調和による先進的で競争力・対応力を有する「食」の流通拠点」を市場経営のコンセプトとして，経営改革や人の育成，施設整備などに取り組む。

### 推進項目2　京都・日本の食文化の魅力発信

京都市中央市場の安心・安全な食材や，京の食文化ミュージアム・あじわい館，KYOCA（京果会館）を活用した食育，料理教室等を通して，京都・日本の食文化の魅力を発信する。

### 推進項目3　「食」に関するイベントの開催

本エリア内の様々な事業者や団体等が連携し，京都市中央市場直送の強みをいかした特色あるイベントを開催する。

## 方策 4 地域に密着した商店街の活性化

七条通付近におけるＪＲ新駅の設置等を好機と捉え，商店街が活性化に取り組むとともに，行政，地域が支援する。また，地域コミュニティの重要な担い手としての役割を果たす。

### 推進項目1 地域住民の利用促進

地域住民のニーズの把握に努めながら，対面販売の良さや，きめ細やかな対応が可能であるといった商店街の強みをいかし，地域住民の利用促進を図る。

### 推進項目2 来訪者の呼び込み

京都水族館や京都鉄道博物館等への来訪者を商店街にも呼び込むため，飲食店の充実や周辺施設との連携に取り組む。また，外国人観光客を呼び込むために，免税店の開設等にも取り組む。

### 推進項目3 空き店舗の活用による新たな事業者の誘致

空き店舗情報の掘り起し，所有者と開業希望者とのマッチング，リノベーション業者との連携等の取組により，客層の拡大につながる特色ある店舗の集積を図る。

### 推進項目4 商店街と賑わいエリア等の連携による地域経済循環モデルの構築

京都市中央市場整備に伴う「賑わいエリア」と，商店街等が相乗効果を発揮し，多様な地域主体に好影響をもたらす「地域でお金が回る仕組み」の構築を目指す。

### 推進項目5 商店街の雰囲気を歩いて楽しめる歩行者空間の創出

誰もが安心・安全に商店街での買い物を楽しめる環境を整えるほか，訪れる人の目を楽しませる仕掛けづくりに取り組む。

### 推進項目6 地域コミュニティへの貢献

商店街での人と人との日々の交流や児童の就業体験学習等を通じて，つながり，絆を強化し，地域コミュニティの活性化を図る。また，商店街が有する付加的な機能の大切さを改めて認識する。

## 方策 5 KRPを核とした新事業・ソーシャルビジネスの創出

本エリアの集客・居住のポテンシャルの高まりも一つの契機としながら，ＫＲＰを核に，新産業の創出につながる取組を展開する。

### 推進項目1 KRPを中心とした産業クラスターの形成

ＫＲＰ内だけでなく，周辺に民間事業者や研究機関の集積を促進するため，ＫＲＰの機能強化に取り組むとともに，事業者の進出意欲を高めるような都市計画の見直しも検討する。

### 推進項目2 新たな事業の創出

ＫＲＰの様々な機能・技術力・支援制度等を積極的に活用し，新たな事業の創出や，特に，社会的課題をビジネスの手法を用いて解決する「ソーシャルビジネス」の創出に取り組む。

## 方策6 鉄道の聖地としての飛躍

鉄道の歴史と現在を体験できる資源が揃っていることを強みに，平成２８年春の京都鉄道博物館の開業も見据えながら，「鉄道」をテーマとした特色あるまちづくりを推進する。

### 推進項目1　京都鉄道博物館の開業

歴史的価値の高い実物車両約５０両を備えた「見る，触る，体験する」博物館として，梅小路公園に国内最大級の京都鉄道博物館が開業することを契機に，更なる人の流れを呼び込む。

### 推進項目2　市電の魅力の継承・発信

梅小路公園内にある市電車両を用いたカフェやショップ，総合案内所において，市電の歴史やまちの変遷が分かる写真展を行うなどして，市電の魅力をより多くの人に伝える。

### 推進項目3　鉄道に関する新たな魅力の創出

鉄道をテーマとしたイベントの開催や，梅小路公園までのアクセスルート上への鉄道関係のモニュメントの設置，鉄道ファンを更に呼び込める事業者の誘致などに取り組む。

### 推進項目4　幅広い層の来訪者の呼び込み

鉄道の聖地であることを全国に発信し，鉄道ファンを呼び込むとともに，他の目的で訪れた人にも，鉄道の魅力を感じていただけるよう，まち全体で鉄道を楽しめるエリアとする。

## 方策7 新たな地域資源の創出と歴史・文化資源の継承

優れた地域資源の個々の魅力を高めるとともに，他のエリアの歴史・文化資源も絡めて，物語を紡ぎ，国内外にその魅力を発信する。インバウンド（外国人観光客誘致）の視点を取り入れる。

### 推進項目1　京都市中央市場整備に伴う「賑わいエリア」や「有効活用地」の活用

七条通付近におけるＪＲ新駅至近の強みをいかした，「賑わいエリア」の全面的活用により，「すし市場」による賑わいを，更に大きな人の流れとする。「有効活用地」の活用方法を検討する。

### 推進項目2　歴史・文化資源の保存・継承

歴史的・文化的価値の高い建造物や街並みを保存・継承していくため，来訪者が資源の魅力に触れ，また，周辺に住む人，働く人がその魅力を改めて実感できる機会を増やす。

### 推進項目3　歴史・文化資源の新たな魅力創出

ＩＣＴ技術を活用した歴史再現や人工的な臨場感等による新たな魅力の付加や，地域主体の観光ルートの開発（着地型観光）等による，これまでとは違う視点からの魅力発信に取り組む。

### 推進項目4　新たな資源の魅力発信・隠れた資源の掘り起こし

龍谷ミュージアムなどの新たな資源や，島原の文芸碑，龍谷大学大宮学舎といった隠れた資源を掘り起こし，著名な資源と関連付けながら知名度を高める等，エリア全体の見所を増やす。

### 推進項目5　点在する魅力のネットワーク化

「新撰組」や「花街文化」，「産業観光」など，様々な切り口で資源をつないだ散策モデルコースや，非公開文化財の公開を目玉としたウォークツアーの開発を通じ，面的な魅力を発信する。

### 推進項目6　新たな来訪者の層の発掘

これまで歴史に興味を持てなかった人にも魅力を発見してもらうため，歴史的な魅力を有する施設と，水族館・鉄道博物館のような子どもたちに人気の施設が連携した企画を実施する。

### 推進項目7　情報発信ツールの多言語化の推進

外国人観光客に仏教文化や日本の建築美等を十分に堪能していただけるよう，マップ型情報冊子や案内板等の多言語化に取り組む。

## 方策8　低・未利用地（公有地・民有地問わず）の戦略的活用の促進

本エリアの活性化の取組によりエリア内の低・未利用地の使用価値・可能性が一層高まることを契機として，地域の活性化に資する土地の有効利用を促進する。

### 推進項目1　地域の特性に応じた施設の誘致

京都駅周辺や梅小路公園（新駅）周辺等において，それぞれの地域の特性に考慮しつつ，その土地にふさわしい施設の誘致に積極的に取り組む。

### 推進項目2　多様な活用方法の検討

来訪者が楽しんで歩くことができるよう，ベンチやモニュメントの設置など小規模な空きスペースの有効活用を行うとともに，イベントの開催など，低・未利用地の臨時活用に取り組む。

# Ⅳ　進捗管理

## PDCAによる進捗管理

様々な主体が将来ビジョンを共有し，本エリアの活性化の取組を効果的かつ効率的に進めていくため，指標を設定し，ＰＤＣＡ※による管理を行う。

※ PDCA = Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の４段階の活動の繰り返しによる継続的な業務改善。

## 指標

**活性化イメージ1「全ての居住者が安心して暮らし，文化を楽しむまち」**

より多くの方に本エリアの居住の魅力を実感していただき，本エリアに住み続けたい，住んでみたいと思う人が増えるよう，**「京都駅西部エリアの居住環境に満足する人の割合」**を指標とし，毎年着実に評価を向上させる。　（調査方法）アンケート調査

**活性化イメージ2「新しいビジネス・活気を生み出すまち」**

本エリアで事業活動を行う事業者が増えるよう，**「京都駅西部エリアの事業所数」**を指標とし，全市的に事業所数が低下傾向にあるが，増加を目指す（平成24年経済センサス活動調査：4,420事業所）。　（調査方法）統計調査

**活性化イメージ3「幅広い世代の人々が多く集まり，楽しめるまち」**

国内外を問わず，より多くの人に本エリアを訪れ，多彩な魅力を知っていただき，本エリアのファンが増えるよう，**「京都駅西部エリアを再び訪れたいと思う人の割合（再来訪意向）」**を指標とし，毎年着実に評価を向上させる。　（調査方法）アンケート調査

# 皆様からの御意見をお待ちしています！

**募集期間　平成27年2月10日(火)～平成27年3月11日(水)≪必着≫**

## 1　応募方法

郵送，FAX，電子メール，京都市情報館（京都市ホームページ）内の送信フォーム，持参のいずれかで「京都市総合企画局市民協働政策推進室」まで御応募ください。

様式は問いませんが，このページを応募様式として使用することができます。

**応募・問合せ先**

〒 604-8571（住所の記入は不要）　京都市 総合企画局 市民協働政策推進室
【電話】075-222-3176　【ＦＡＸ】075-213-0443
【電子メール】project@city.kyoto.jp　【送信フォーム】下記３のＵＲＬを参照

## 2　御意見の取扱いについて

意見募集の結果は，後日，京都市情報館（京都市ホームページ）においてお知らせする予定です。御意見に対する個別の回答はいたしませんので，あらかじめ御了承ください。

なお，この意見募集で収集した情報は，「京都市個人情報保護条例」に基づいて適切に取り扱い，他の目的に利用することは一切ありません。

## 3　その他

このパンフレット及び「京都駅西部エリア活性化将来構想」（案）の全文は，京都市情報館（京都市ホームページ）の市民意見のページで御確認いただけます。

**アクセス方法**

【京都市情報館】→【市政情報】→【市民参加】→【市民意見（パブリックコメント）】
→【「京都駅西部エリア活性化将来構想」（案）に関する市民意見の募集について】
（http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000178013.html）

# 御意見記入用紙【FAX:075-213-0443】

【年齢】 ＿＿＿＿＿＿歳代　　【性別】 男性 ・ 女性　≪○をつけてください≫

【区分】 京都市在住（　　区）・ 京都市在勤（　　区）・ それ以外　≪○をつけてください≫

※ 御意見を取りまとめる際の参考にします。差し支えなければ御記入ください。

**御意見**

発行：京都市総合企画局市民協働政策推進室
平成２７年２月発行　京都市印刷物第 264916 号

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！